

【主題名】わがままな行い 内容項目 「A-(3) 節度, 節制」

【教材名】かぼちゃのつる (東京書籍 新しいどうとく1)

<あらすじ>かぼちゃのつるは、どんどん伸びていった。道路を挟んだ隣のすいかの畑までつるを伸ばしていき、すいかや小犬に注意されてもつるを伸ばすことをやめないかぼちゃ。そこへトラックがやってきて、かぼちゃのつるは切られてしまった。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

節度, 節制の中で、わがままをしないという道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

自分のやりたいことや気持ちを優先し、わがままな行動をして、周りを困らせていることに気付いていない児童が多い。

☑ 本時のねらいを設定する

判断力

心情

実践意欲

態度

自分勝手な行動をしないで、周りの人のことを考え、わがままな心を抑えて生活しようとする道徳的心情を育てる。

【指導の流れ】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p><b>1 本時のねらいとなす道徳的価値について問題意識を持つ。</b></p> <p>○ 天気の良い日に遊んでいる時、どのような気持ちですか。</p> <p>○ かぼちゃさんはどうしたいと思いますか。</p> <p><b>2 課題をつかむ。</b></p> <p>周りの友達と仲良く過ごす大切さを考えよう。</p>	<p>導入の工夫</p> <p>自分との関わり</p>
展開	<p><b>3 登場人物の心情を自分との関わりで捉える。</b></p> <p>○ つるをぐんぐん伸ばしているとき、かぼちゃさんは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p>○ みつばちやちょうに注意されたとき、かぼちゃさんは、どのようなことを考えていましたか。</p> <p>◎ 車にひかれてつるを切られてしまったとき、かぼちゃさんは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p><b>4 お互いに気持ちよく生活する大切さについて考える。</b></p> <p>○ あなたがかぼちゃさんだったらどうしますか。</p>	<p>自分との関わり</p> <p>体験的な学習</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p><b>5 自己の生き方について考える。</b></p> <p>○ 周りの友達と仲良く過ごすために大切なことは何だと思いますか。</p>	<p>終末の工夫</p>

【板書計画】

かぼちゃさんだったら  
ちがうところにつるをのばす。  
まわりの人のめいわくにならないようにする。  
ちゆういをされたら、どうしたらいいかかんがえる。  
まわりのひとのこともかんがえる。

トラックにつるを切られた絵

注意されている絵

つるを伸ばすかぼちゃの絵

だいたい〇かいどうとく  
・きもちいい  
・たのしい  
・つるをのばしたい。  
「かぼちゃのつる」

まわりのひととなかよくすごすには、どうしたらよいかかんがえよう。

えーん。なんでものばしちゃったんだろう。どうして、こんなめいあうんだ。いうことをきけばよかったな。  
わがままだったのか。

うるさいな。  
のばしたいだけのばしたいんだ。  
かつてにさせて。

・どんどのぼすぞ。  
・大きくなるぞ。  
・たのしいな。

・うるさいな。  
・のばしたいだけのばしたいんだ。  
・かつてにさせて。

【評価】

わがままをしないで周りの人のことも考えるよさについて、体験的な学習を通して、多面的・多角的に考えようとしていたか。